

2022 年度活動計画書

NPO 法人海の森・山の森事務局

●広報紙「大岡川ニュース」の発行

今年度もコロナウィルスによる広告出稿企業減少が懸念されるため、毎号4,000部にて発行予定。コロナ禍の諸々で、現在、年3回の発行になっているため、徐々に年4回の発行のサイクルに戻していきます。

●小学校、中学校、高等学校への環境出前授業の実施

教室での対面授業、オンライン授業、現場での実習など、今までに培ったあらゆるコロナ対策を講じながら実施します。子どもたちや学生と、海洋プラスチック汚染、マイクロプラスチック撲滅に向けたプロジェクトを展開します。(よこはま夢ファンド助成事業)

●「プラごみバスターズ 神奈川県海岸線 435.09km を踏破する!」

この企画を、2020年4月に県西端・湯河原からスタート。すでに三浦半島三崎まで到達しているため、今年度は三浦半島東岸の海岸を観音崎付近まで踏破予定。踏破しながら、ごみを拾い、県内のどの海岸のごみが多いかなどを調査しながら進めます。ドローンも使い、空撮による海岸線も取材し、ごみの分布と海岸線のデータベースを作ります。この企画は、前出の大岡川ニュースでも連載し、動画版はYouTubeにアップし、当NPOホームページでシリーズ企画として閲覧できます。(公益財団法人イオン環境財団助成事業、桂川・相模川流域協議会補助金事業)

また、神奈川県海岸線のうち相模湾側は踏破したので、中間報告会を計画し、実施します。

●大岡川 PGT (P プラスチック G ごみ T 獲ったどお) 大作戦の実施

毎月2回、第一土曜日に井土ヶ谷エリア、第三土曜日に日ノ出町・黄金町エリアで実施します。

●城ヶ島沖海底のプラスチックごみ拾い・漂着プラスチックごみ拾い

ボランティアダイバーを募り、城ヶ島沖の海底に沈むプラスチックごみを拾います。年2~3回、城ヶ島ダイビングセンター、城ヶ島漁業協同組合との協働で実施します。海岸の漂着プラスチックごみ拾いは、城ヶ島ダイビングセンター、城ヶ島漁業協同組合、横浜市の小学校、釣具メーカーのグローブライド社(旧社名ダイワ精工)との協働で6回実施予定。(公益財団法人イオン環境財団助成事業)

●茅ヶ崎沖海底のプラスチックごみ調査と回収・茅ヶ崎海岸のマイクロプラスチック粒子採取

ボランティアダイバーを募り、茅ヶ崎沖の海底に沈むプラスチックごみの調査と回収。年2回、地元のダイビングショップとの協働で実施。(公益財団法人イオン環境財団助成事業)

海岸のマイクロプラスチック粒子回収は、横浜市の小学校との協働で実施予定。

●**真鶴・岩沖海底のプラスチックごみ調査と回収**

ボランティアダイバーを募り、岩沖の海底に沈むプラスチックごみの調査と回収。年2回、地元のダイビングショップとの協働で実施。(公益財団法人イオン環境財団助成事業)

●**レコプラダイエットでそもそものプラごみを減らします**

レコプラダイエット (商標登録完了。Recording Plastic-waste Diet)。自分や自分の家庭から出してしまうプラスチックごみを記録したり、検証したりすることで減らしていく活動。現在Facebook ページで展開中。いろいろな企業や団体と協働で進め、そもそものプラごみを減らしていきます。

●**企業との協働**

まだ諸々調整中ではありますが、本年度内に企業および行政との協働の取り組みを開始します。事業収入の得られる活動へと発展します。